

## 第3回名寄市保健医療福祉推進協議会 地域福祉部会

### 第3回地域福祉実践計画 策定委員会

#### 合同部会 議事録

日 時：平成27年9月15日（火）18時30分～20時30分

場 所：名寄市役所 4F 大会議室

1 開 会（策定委員会 委員長）

2 挨 拶（策定委員会 委員長）

3 議 事

協議第1号 福祉懇談会の日程と内容について

（1）福祉懇談会の事務局案について

→ 別紙資料参照

→ 日程や回数などは、原案どおりで決まった。

（2）各委員の福祉懇談会に参加日の調整について

→ 別紙資料参照

→ 今回の部会に欠席された委員の方のご都合は、後日聞き取りをし、その後、事務局の方で、割り振りをする事になった。

（3）高齢者や障がい者などの体験談の発表について

→ 前回の部会で、「高齢者や障がい者などの体験談を発表する場を設けてはどうか？」という意見が出されたので、それを組み入れるかどうかについての話し合いを行なった。

→ 事務局からは、福祉懇談会の前半に行なう「計画の説明」と、後半に行なう「グループワーク」に時間がかかるので、体験談を発表することにするのであれば、ごく短時間で行なうことになるという原案をお伝えした。

→ その後、委員の方々からは、以下のような意見が出された。

- ・そもそも、体験談の発表については、「福祉懇談会に多くの人を集めるために、そういうこともした方がいい」という意見だったと思います。  
多くの人を集めるために行なうのであれば、短時間ではなく、時間を少し取って、体験談の発表を行なった方がいいと思います。
- ・前回（数年前）の取り組みでは、あまり参加者が集まらなかったということがありましたので、どうやって参加者を集めるのか（集まりやすくするのか）をしっかりと考える必要があると思います。
- ・最初に、5分間ずつ6つの分野の説明をするということになっていますが、その説明の時間を短くすることができれば、体験談の発表の時間を生み出すことができると思います。
- ・最初の説明については、5分間ずつ、6人の担当者が交代交代で説明する形になっていますが、例えば、それを担当者1人がまとめて説明する形にすれば、最初の説明は、もっと短時間で終わることができると思います。
- ・最初の説明についても、体験談の発表があることで、わかりやすくなると思います。
- ・体験談の発表があると、そのあとのグループワークで話をする際のきっかけになると思うので、体験談の発表をすることはいいことだと思います。
- ・時間的に、体験談を入れることは難しいのではないかな。
- ・グループワークの中で、体験談のような話をすることはできないだろうか。
- ・グループワークについても、1回30分間だと、時間が短かく、十分に話をするできないような気がします。
- ・グループワークについては、1グループ5～6人のイメージだと思いますが、1グループの人数を4人に減らせば、もう少し、話す時間を確保できると思います。

※ 体験談の発表や、当日の時間配分については、今回いただいた意見をふまえて、後日、事務局で検討することになった。

(4) 福祉懇談会のサブタイトルについて（案内文の検討）

→ 委員の方々からは、以下のような意見が出された。

- ・案内文については、福祉懇談会でどんなことをするのがわかるように、書くことが大事だと思います。
- ・「グループワークを行なう」と書くと、グループワークに慣れていない方については、引いてしまうような気がします。
- ・グループワークで、何について話をするのかを、案内文に書いた方がいいと思います。
- ・案内文を送りっぱなしではなく、参加者を増やすために、みんなで声かけをしていく必要もあると思います。
- ・広報活動については、新聞やラジオなども活用するとよいと思います。

→ 福祉懇談会のサブタイトルについては、以下のような意見が出されました。

- ・声出せ、知恵出せ、力出せ
- ・あなたの意見で広がる笑顔
- ・しゃべり場
- ・ひまわりの輪
- ・名寄で生まれて、皆で暮らそう
- ・名寄で生まれて、最後まで大きな輪のひまわりのように仲良く暮らすぞ

※ 福祉懇談会のサブタイトルについても、今回いただいた意見をふまえて、後日、事務局で検討することになった。

## 福祉懇談会のシミュレーション（グループワーク）

- ・ 1つのグループに、代表してグループワークをしてもらい、他のグループがそのグループワークの様子を観察するという行なった。
- ・ その後、委員から、グループワークの工夫した方がいい点などについて、意見をいただいた。主な意見は、以下のとおり。

- ・ 司会者1名 + 参加者4名の計5名でグループワークを行なってみました。時間的に考えると、参加者は4名が限界で、これ以上参加者を増やすと、意見交流の時間が足りなくなると思います。
- ・ 先ほどのグループワークでは、司会者も、付箋紙に書いた自分の意見を発表しましたが、時間のことを考えると、司会者は、司会だけをして、自分の意見は発表しない方がよいと思われます。
- ・ グループワークの際、参加者が、順番に、自分が付箋紙に書いた意見をすべて発表してしまうと、最後の順番の参加者が発表する時間が少なくなる可能性があります。  
時間のことを考えると、例えば、「付箋紙に書く意見は、1人3つまで」という制限をかけるというやり方もあると思います。
- ・ 1回の発表につき、1人1つずつ、自分が付箋紙に書いた意見を言うようにすれば、意見の発表の回数が均等になると思います。
- ・ 1回のグループワークは、30分間となっていますが、話をしだすと、結構時間がかかりますので、本当であれば、もう少し長い時間、グループワークをした方がいいと思います。
- ・ グループワークの時間が足りないのであれば、グループワークは1回だけにするというやり方もあると思います。
- ・ 先ほどのグループワークでは、2つのテーマ（「高齢」と「子育て」）について、いっぺんに話し合ってみました。時間的な余裕があるのであれば、今までやってきたグループワークのように、1つのテーマについてじっくりと話し合う方がいいとは思いますが、時間的な制約もありますので、それはしょうがないと思います。
- ・ グループワークのテーマについては、「地域福祉（高齢・子育て・健康・障がいすべてのテーマを含んだ形）」として、いっぺんに話し合いをするというやり方もあると思います。

※ グループワークについても、いろいろな工夫や意見をいただいたので、今回いただいた意見をふまえて、今後、事務局でグループワークの進め方の改良することになった。

4 その他

5 閉 会（地域福祉部会 部会長）